新品種・新技術の確立 支援 取組概要 (H30~R1)

゜中山間地のエゴマ導入・定着に向けた生産技術の確立への取り組み 』

=三重県=

【全体概要】

中山間地の農地を守るために、大台町ではエゴマの栽培振興に取り組んでいる。エゴマは獣害に強く、また健康志向から高付加価値 化が見込める作物として、平成27年度からJA女性部生産者グループ「奥伊勢えごま倶楽部」会員が中心となり栽培を開始し、平成29年 度には、地域内に新たな搾油施設を整備、生産から搾油、販売に至る6次産業化に向けての取り組みを進めている。今後、中山間地農 業のモデルとして、栽培技術向上により農業生産の安定化とブランドカ向上を図り、農業経営安定による取り組み継続へと繋げる。

新品種・新技術等の概要

中山間地の限られた耕地面積での、単収の向上の手段として、当地での環境に適応し、安定的に増収できる摘芯技術の確立を目指す。

また多発拡大傾向にある、青枯病の防除対策確立のため、転炉スラグ投入による土壌改良効果を確認する実証圃を設置する。

さらに将来にわたり、優良更新種子の安定確保を図るため、採種試験 圃を設置し課題を整理する。







実証圃の設置および調査活動

左: 生育調査と、摘芯作業 中右: 青枯病対策実証圃の設置

主な取組内容

- 栽培管理上の課題解決のために、以下の栽培実証圃を設置した。
- 強摘芯(2回摘芯実施)による、生育(草高、花数)差と増収効果の確認。
- ・土壌酸度矯正による、青枯病抑制効果の確認。
- 採種圃場を設置し、収穫種子より搾油した油の品質を確認した。
- 〇栽培マニュアルを改訂し、上記実証圃における検証結果を反映した。
- 〇上記試験結果の検討と意見交換を関係機関と実需者間で実施した。
- 〇上記結果の生産者に向けた情報共有をおこなった。

実施体制図

【実需者:県内流通業者】

- ・各種検討会への参加
- ・販売方針の提示
- ・情報共有 ・協力関係

 - 【松阪地域農業改良普及センター】

連携

- ・事業実施計画の策定・進行管理
- 各種検討会の開催
- 関係機関との調整
- ・情報共有 ・協力関係
 - 【大台町】
 - 各種検討会への参加
 - 特産品化への協力
 - ・農地の利用調整

課題と今後の対応

【実績】

- 種子の収穫量と搾油量については、2回摘芯区の方が上回っており、強摘芯実施による種子収量や搾油量増加が確認された。
- 土壌pH矯正による、青枯病抑制効果が確認された。
- 自家採種圃場採種種子と購入種子との発芽率や搾油品質が、同等以上であることが確認された。

【今後の課題・展開】

- ・ 摘芯方法については、生産者への共有により、単収増を図る。
- ・ 土壌pH矯正による青枯病抑制効果については、次年度以降も農業研究所の協力により、実証圃数を拡大し、効果を検証する。
- 採種圃場を設置し、更新種子の安定供給を図る。



【生産者:奥伊勢エゴマ俱楽部】

- ·実証試験管理
- 試験データの提供
 - 情報共有実証圃管理
 - ****

【農業・畜産研究所】 ・試験設計に関する助言 ・各種検討会への参加

連携